

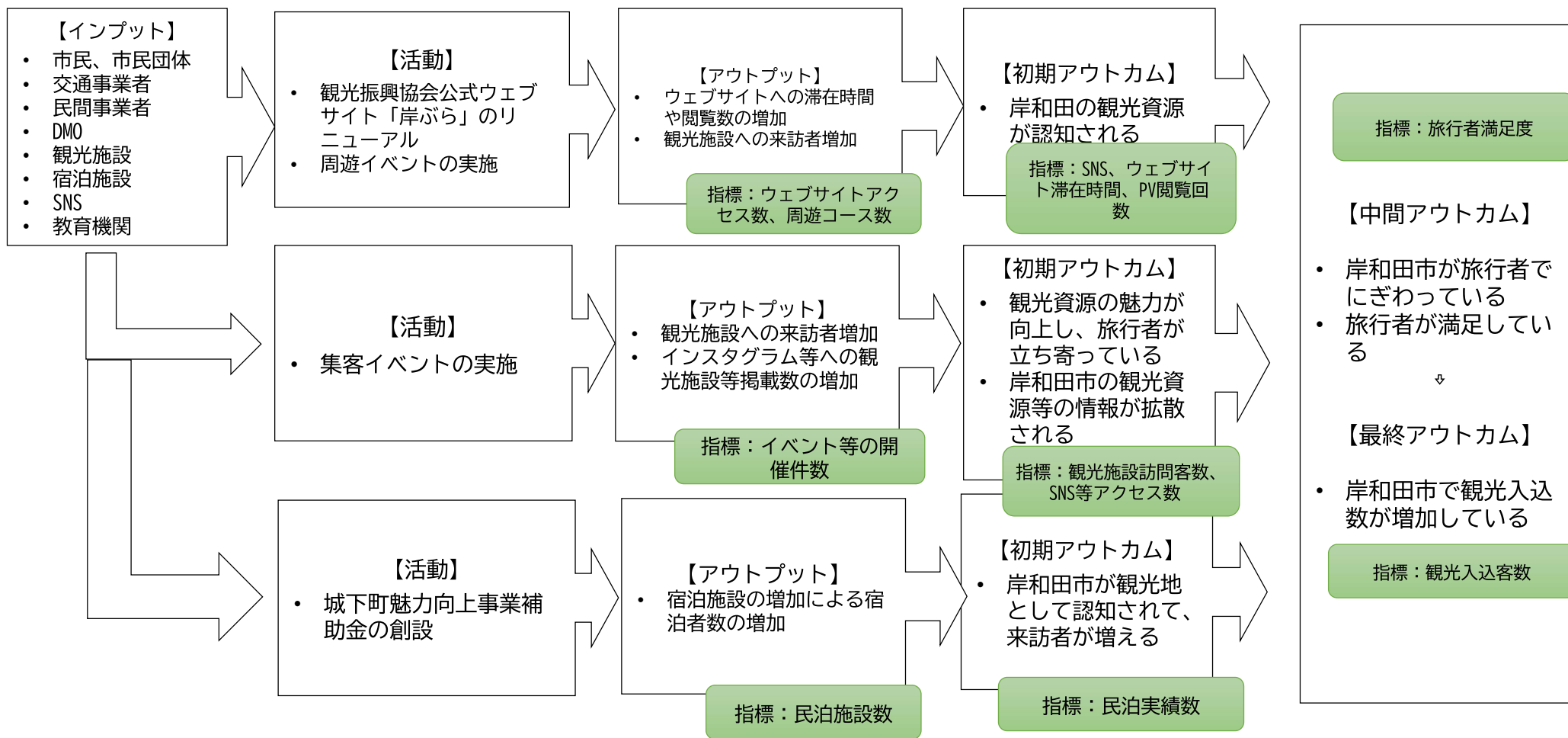
# 【R7年度】重点目標の取組・概要（岸和田城を中心とした観光コンテンツの醸成及び観光客の誘致[観光振興事業]）

担当課（内線）	観光課 内2810	重点目標の方向性	地域経済の軸となる産業・観光の活性化
重点目標	経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する

現状と課題	課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的・文化的価値のある建物はあるものの、観光客誘致に活かしていない。</li> <li>・だんじり祭は、非常に認知度が高いが、それ以外の観光コンテンツの認知度が低い。</li> <li>・本市への来訪者の訪問目的が、「観光」より、「買い物」や「遊び」となっている。</li> </ul>	<p>【【中期的(4~5年後)にめざす成果】】</p> <p>主要な観光資源を活かして、岸和田の魅力を知ってもらい、誘客促進をめざす。</p> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>観光創造ビジョン・岸和田アクションプランに基づき、①プロモーションの強化、②観光コンテンツの充実、③受入体制の整備・充実にR6年度からR8年度にかけて取り組む。</p> <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <p>①プロモーション強化 ②観光コンテンツの周遊促進の強化 ③受入体制の整備・充実</p>
R7年度の事業費（内訳）	
<p>①プロモーション強化 観光振興計画実施事業（観光振興協会公式サイト「岸ぶら」）4,300千円</p> <p>②観光コンテンツの周遊促進の強化 観光振興事業委託料 35,586千円</p> <p>③受入体制の整備・充実 城下町魅力向上事業補助金 3,000千円</p>	

R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（R8）観光振興計画実施事業（観光振興協会公式サイト「岸ぶら」）4,300千円</li> <li>・（R8）観光振興事業委託料 37,986千円（観光計画策定委託料2,000千円（中間見直し・改定含む））</li> <li>・（R8）城下町魅力向上事業補助金 3,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の主要観光施設及びイベントへの観光入込客数 （R4）2,623,242人 ➡（R8）280万人</li> <li>・観光振興協会公式ウェブサイト「岸ぶら」への滞在時間 （R4）1分56秒 ➡（R8）2分1秒</li> <li>・「岸ぶら」への月平均閲覧回数（PV） （R4）57,885PV ➡（R8）200,000PV</li> </ul>	<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること</p> <p>令和8年度に観光振興ビジョン・岸和田アクションプランの中間精査を行い、検討を行う。</p>

ロジックモデル【事業立案時点】



財源

他団体の状況

その他（行政サービスとしての適正性について など）

--	--	--

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 主要な観光資源を活かして、岸和田の魅力を知ってもらい、誘客促進をめざす。

■ R7年度において実施・実現できたこと

- 岸ぶらの掲載情報の充実化。
- 事業イベント等の情報発信。
- 市SNS：インスタ5884人→7396人、X 4252人→4314人（2025.7 → 2026.1）
- 観光振興協会インスタ：2721人→3037人（2025.7 → 2026.1）
- 岸ぶらX→7168名→7097人（2025.7 → 2026.1）
- ツーリズムEXPOへブース出展 →商談数28件
- 海外OTAで甲冑で巡る岸和田城！タイムスリップ体験ツアーを販売。
- 日帰りバスツアー造成及び催行業務→桃ツアー2件
- きしわだソウルフードコンテストを実施。きしわだグルメマップを作成。
- 全日本忍者手裏剣打選手権大会の実施。
- 自転車での周遊促進を図る事業を実施。岸和田競輪場でのサイクルイベントの開催。
- 関西観光まちづくりコンサルティングに基づく分科会の開催
- 岸和田市民泊施設整備促進事業補助金の継続。→3件
- だんじり絵画コンクールの実施。

■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- プロモーション強化
- 観光コンテンツの周遊促進の強化
- 受入体制の整備・充実

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
○	1年間の主要観光施設及びイベントへの観光入込客数	人	2,623,242 (R4)	2,800,000 (R8)	3,137,976 (R7)
○	観光振興協会公式ウェブサイト「岸ぶら」への滞在時間	秒	116 (R4)	121 (R8)	34 (R7)
○	「岸ぶら」への月平均閲覧回数	PV	57,885 (R4)	200,000 (R8)	30,754 (R7)

## ■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 令和7年度の記載した取り組み内容については実施できた。
- ・ 令和6年度の課題についてもおおむね改善できた。

## ■ 課題分析

- ・ 事業内容やプロモーションについては、前年度のブラッシュアップをして、より効果的に実施できている。ただし、本市だけでの事業の実施には限りがあるため、事業者間の自主的な横展開のきっかけになる事業や、サポートする機会をつくる。

## ■ ロジックモデルの振り返り

- ・ 岸ぶらのWEB滞在時間は令和7年度 約34秒
- ・ 岸ぶらの令和7年のセッション数（ページビュー）→1日あたり：1,104  
ブロガー新規投稿数：180  
来訪者の岸ぶら閲覧率：7%（R5年度調査：9.6%）
- ・ サイクリング周遊イベント  
参加者数：800人⇒416人（目標→実績）  
1人あたりの観光消費額：6,000円→5,196円（R6：4,400円）  
※人数及び観光消費額の目標には達しなかった。
- ・ きしわだソウルフードコンテスト  
協力事業者数：20店舗⇒18店舗（目標→実績）  
参加者数：800人⇒1,639人（目標→実績）  
一人当たり消費額：1,500円⇒1,031円（目標→実績）  
※事業者数、参加者数はクリアしたが、消費額の目標には達しなかった。
- ・ 民泊施設整備促進事業補助実績は3件だが、問い合わせが多くまだまだ需要が多い。  
※行政の支援として一定の受入れ体制の整備が完了した。問い合わせも多く、ニーズも高い。

## ■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 岸ぶら内（過去記事）の情報を整理する（信頼度の向上）
- ・ 閲覧数の多い記事などを把握し、ニーズの把握に努める
- ・ 滞在時間を延ばす工夫として動画コンテンツを活用する
- ・ アンケート結果から因果関係から分析する。
- ・ 単年度の事業ではなく、継続して取り組むことで定着化とブランド化を目指す。また、事業者とも協力し、団体客のオペレーションについても協議し受入体制の課題の解消を目指す。
- ・ 宿泊施設や飲食店と連携し、観光消費額・滞在時間の向上を目指した事業運営を行う。
- ・ イベント情報などの広告・告知を出すエリアの見直し。
- ・ 広報計画を作成し、十分なプロモーション期間を確保。
- ・ 観光素材の整理を行い、商品造成に結び付くコンテンツを選定し、働きかける。
- ・ 事業者へのヒアリングや連携の強化。